

# 可部南静養園新聞



令和4年  
5月発行  
第24号  
可部南静養園  
広報委員会

## ご挨拶

二〇二二年度の取り組み  
施設長 松田圭太

昨年末には収まっていたかのようには思われた新型コロナウイルス感染症ですが、年明けから爆発的な拡がりとなり、コロナ禍の終わりはまだまだ見えない状況です。ですが、コロナ禍における課題も見えてきたと感じています。今年度は次の取り組みに力を入れ、ご利用者の皆様の安心に繋がるよう取り組んでまいります。

### 特養

安全・安心と快適な支援に繋がる介護機器を活用していきます。

### ショートステイ

在宅でのご様子をご家族様、ケアマネ等からお聞きし、ご利用時の支援に活かしていきます。

### デイサービス

ご自宅での入浴がスムーズに行えるリハビリプログラムをご提案します。

### 訪問介護事業所

コロナの感染リスクを軽減するため、職員が事業所に集まらなくても訪問できる体制を整えます。

### 居宅介護支援事業所

事例検討会を行い、アセスメント力の向上を目指します。

### 医務室

感染対策の継続と看取り対応の充実を目指します。

「ご利用者様に喜んでいただきたい」「ご利用者様の笑顔が一番の力です」と、職員は前向きに考えて行動しています。可部南静養園に関わってくださった皆様が笑顔になれるよう、今後も職員一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

## 特養

### 貼り絵作り

今年も施設の近辺ではきれいな桜が咲いていました。ご入居者様も居室から見える山桜を眺め「今年もきれいに咲いているよ」「花見に行きたいね」など話されました。ご入居者の皆様で春にちなんだ貼り絵をピース毎に合わせ一つの大きな貼り絵(富士山と桜)を作成しました。「この色綺麗だね」と談笑しながら、楽しく作る事が出来ました。完成後は、各ユニットへ順番に掲示し、ご入居者様に季節を感じていただきました。



富士山と桜



## 事務所

### 朝礼で一分間スピーチ

事務所では、司会担当者が朝礼時に一分間スピーチを行っています。話すテーマに決まりはなく、自由に思いを伝えていきます。内容は趣味や夢中になっていることが多く、音楽、映画、テレビ、旅行、好きな食べ物、好きなお店、家族についてなどです。時には社会問題などシリアスな内容が語られることもあります。一分間はあっという間で、熱く語るあまり、時間オーバーしてしまうこともあり、時間内に伝えきることを意識しなければなりません。スピーチが上達すると、伝える力が身に付きます。ご家族様へ連絡する際、よりご理解いただきやすく説明できるよう、日々努力を続けてまいります。



## 新任職員紹介



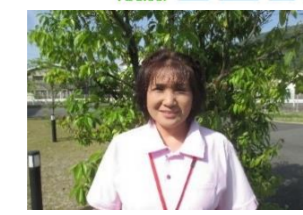
特養・介護士  
張谷 文乃 (はりたに あやの)  
お菓子作りにはまっています。休みの日は、パウンドケーキなどを作っています。



特養・相談員  
渡邊 千代美 (わたなべ ちよみ)  
図書館に通って読書をしたり、ホームセンターで植木や花を観るのが好きです。



特養・業務員  
青山 則子 (あおやま のりこ)  
旅行や音楽鑑賞が趣味です。絵画を観たり描くこともあります。



デイサービス・介護士  
谷本 佐美子 (たにもと さみこ)  
Netflixで韓流ドラマを観ることが楽しみの一つです。



デイサービス・介護士  
南川 満 (なんかわ みつる)  
趣味は大型バイクでツーリングをすることです。白川郷、槍ヶ岳が思い出に残っています。

デイサービス

デイサービスで健やかに

朝、ご利用者様をお迎えし、温かいお茶で一息ついていただきます。看護師よりバイタルチェック（体温・脈拍・血圧・呼吸）を受けていただき「体調は良さそうですね」と伝えると「良かった」と安心され笑顔がこぼれます。

午前中の体操の時間には、職員が見本となり、ご利用者様も取り組みます。脳トレクイズでは職員の手引やおどけた表情に笑いが起こります。

朝食をすませた後は口腔ケアを行います。職員がお声をかけ、順番に歯ブラシを準備して、口腔内の清潔に務められています。

午後からはフリータイムです。各々、好きな活動をされます。気の合うご友人と会話、トランプ、野球観戦、麻雀、ミニゴルフなど個々で楽しい時間を過ごされます。時にはメドマーやイージーウオークでゆったりと過ごされるご利用者様もいらっしゃいます。

一日を通して機能訓練を実施しています。五名がグループとして、機能訓練指導員が指導し、運動に励まれています。

毎日のリズムを作り、心身の健康が維持できますよう、ご支援させていただきます。



居宅

お気軽にご相談ください

居宅介護支援事業所 可部南静養園では、現在ケアマネジャーが五名在籍しております。主な仕事は、ご自宅で介護サービスを受ける方のサポートを行います。介護についての相談を受け、どんな介護サービスを利用されるか意向を確認し、一緒に考え、必要なサービスを調整させていただきます。また、毎月一回以上、ご自宅にお伺いしてサービスの調整や見直しをさせていただきます。その他、要介護認定の申請・更新の手続き等も行い、可能な限りご自宅生活が続けられるようにご支援いたします。



ここからご利用者様やご家族様へお電話をしています。優しい雰囲気の仕事所です。

社会福祉法人 広島県同胞援護財団

★可部南静養園ホームページ

<http://www.dohen.or.jp/intro/older/kabeminami01/>

ブログも公開中です



訪問

今日も「安全に

四月から業務での運転前後にアルコールチェックが義務化となりました。通常は出勤してからの訪問開始と帰園時に対面でのチェックですが、直行直帰の場合は自宅を出る時、自宅に戻った時に、電話連絡で確認しています。

昨年度より、スマートフォンの使用で記録アプリやビジネスチャットを活用して報告や連絡を行なうようになっていきましたが、直接声を聞くことで、声の明るさや活気を感じ、情報交換も兼ねてコミュニケーションの機会が増えました。連絡時にはお互いに気持ちのいいサービスが提供できるよう「よろしくお願ひします」「お疲れ様でした」と一言添えています。

これからも、皆様に笑顔で予定通りのサービスを提供できるように、心に余裕を持ち安全運転で訪問します。



栄養士

給食だより

可部南静養園では、全国各地の郷土料理を献立に入れています。どこか懐かしさを感じる料理や珍しい料理が毎月登場します。ぜひお楽しみください。

五月十六日（昼）

■味(も)ぶかし(岩手県郷土料理)

旬の食材を使った炊き込みご飯で、端午の節句やお祝いの席で食されています。東北地方では「蒸す」ことを「かかす」と言い、「もち米を蒸かしたおこわのことを「おふかし」と言います。そこに色んな具材が入ると「味ぶかし」になるそうです。季節や家庭ごとに具材が異なり、一年を通して様々な味わいを楽しめるメニューです。

五月二十三日（昼）

■深川(なま)飯(し)(東京都郷土料理)

深川飯はねぎとあさりを味噌で煮込んで、ご飯にかけたものです。東京の深川は、江戸時代には漁師の町として栄え、魚介類や海苔などを捕る漁師たちが大勢いました。特に、あさがたくさん捕れたので、深川名物とされています。忙しい漁の合間に手早く作れて、美味しく栄養価の高い「深川飯」は、漁師の日常食として長い間親しまれていました。



深川飯



味ぶかし

※写真はイメージです

ご家族の皆様から ご意見、苦情など 令和3年10月～令和4年4月  
 ・苦情：0件・ご意見：1件・意見箱：0件

